

2027年3月期第1四半期 決算短信補足説明資料

【TICKER】4389 / 【TERM】2026.04 – 2026.06.

2026年8月12日

2027年3月期第1四半期 決算概要



○ 2027年3月期第1四半期 業績サマリー(連結)

売上高・各利益項目はいずれも前年同期比で増収増益となり、いずれも第1四半期として過去最高の業績を達成。

売上高

879百万円
(前年同期比 + 15.4%)

経常利益

230百万円
(前年同期比 + 20.0%)

営業利益

233百万円
(前年同期比 + 21.1%)

当期純利益

152百万円
(前年同期比 + 19.4%)

※百万円未満切捨て

2027年3月期第1四半期 業績ハイライト(前期比)

クラウドサービスは、近年の成長トレンドを維持し、堅調に推移。
ソリューションサービスは、前年度受注した大型案件の売上計上により大幅に伸長。

(単位：百万円)		2026年3月期 第1四半期	2027年3月期 第1四半期	前期比
		実績	実績	
売上高(連結)		762	879	+15.4%
プラットフォーム事業	クラウドサービス	466	517	+10.8%
	ソリューションサービス	292	362	+24.0%
その他		2	4	+53.1%
営業利益		192	233	+21.1%
経常利益		192	230	+20.0%
親会社株主に帰属する当期純利益		127	152	+19.4%

※百万円未満切り捨て
※2027年3月期第1四半期より、事業実態および収益構造をより明確にお伝えする観点から、従来の子会社別開示から、クラウドサービスおよびソリューションサービスの2区分による業績開示へ変更しております。

通期業績予想に対する進捗率

今期計画は、クラウドサービスを除き下期偏重傾向の為、Q1の進捗率としては低位だが、ほぼ計画通り。
ソリューションサービスの大型案件は一部売上計上を開始し、Q2以降で業績寄与が本格化。

(単位：百万円)		2027年3月期 第1四半期	2027年3月期 通期	進捗率
		実績	業績予想	
売上高(連結)		879	4,200	20.9%
プラットフォーム事業	クラウドサービス	517	2,090	24.7%
	ソリューションサービス	362	2,102	17.3%
その他		4	14	27.7%
営業利益		233	1,340	17.4%
経常利益		230	1,330	17.3%
親会社株主に帰属する当期純利益		152	890	17.1%

※百万円未満切り捨て
※2027年3月期第1四半期より、事業実態および収益構造をより明確にお伝えする観点から、従来の子会社別開示から、クラウドサービスおよびソリューションサービスの2区分による業績開示へ変更しております。

○ 2027年3月期第1四半期 サマリー

2027年3月期 計画

クラウドサービス

(計画 **2,090**百万円)

- 不動産ERPとしての訴求を継続し、大型案件を獲得
- 不動産WHOLE LIFE構想を支えるデータ基盤として、@propertyを中心としたクラウドサービスのさらなる普及・拡大
- 新リース会計基準対応を契機とした顧客接点の拡大
- 当社の中長期的な企業価値創出のための源泉として、クラウドサービス全体の月額利用料成長と解約率低減によりストック型収益基盤のさらなる強化を推進



2027年3月期第1四半期 実績

(売上高 **517**百万円)

- 大型案件の稼働開始および中小型案件の積み上げにより、ストック収益基盤は着実に拡大
- 不動産ERPとしての認知拡大により、@propertyへの引き合いが堅調に推移
- 建物・設備管理領域における業務効率化ニーズの高まりを背景に、@cmmsの大型案件獲得に向けた商談が進展

ソリューションサービス

(計画 **2,102**百万円)

- 不動産DX需要を捉えた大型案件・開発案件の獲得を推進
- 不動産WHOLE-LIFE構想の実現に向け、クラウドサービスと連携したデータ活用・業務高度化支援を強化
- 子会社との連携によるグループ総合力を活かした提案領域の拡大
- 高付加価値案件への注力による売上拡大と収益性向上

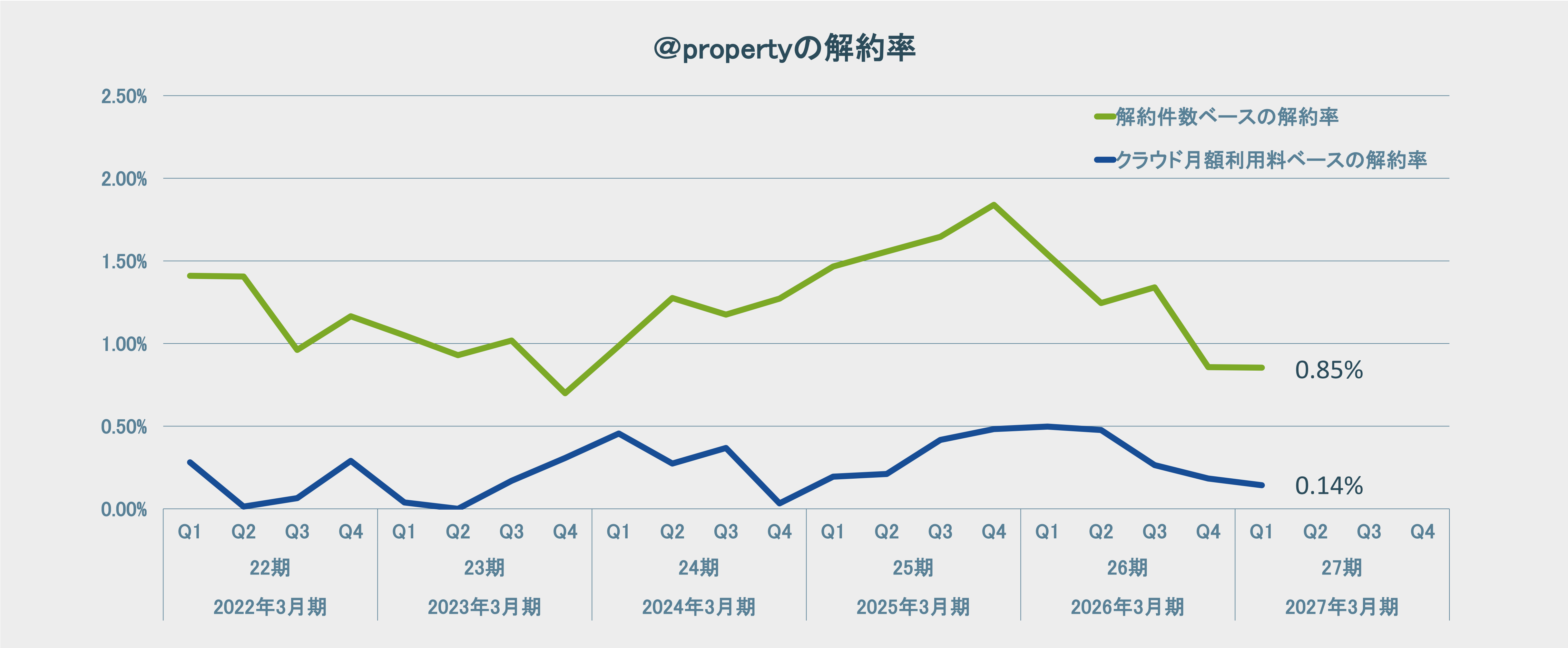


(売上高 **362**百万円)

- 既存ユーザーから新リース会計基準対応案件を受注し、進捗に応じて一部売上を計上
- オプションの販促キャンペーンを実施し、受注拡大および利用促進に一定の成果
- 大型案件は既存ユーザーを中心に進展。今後は新規ユーザーの獲得を強化

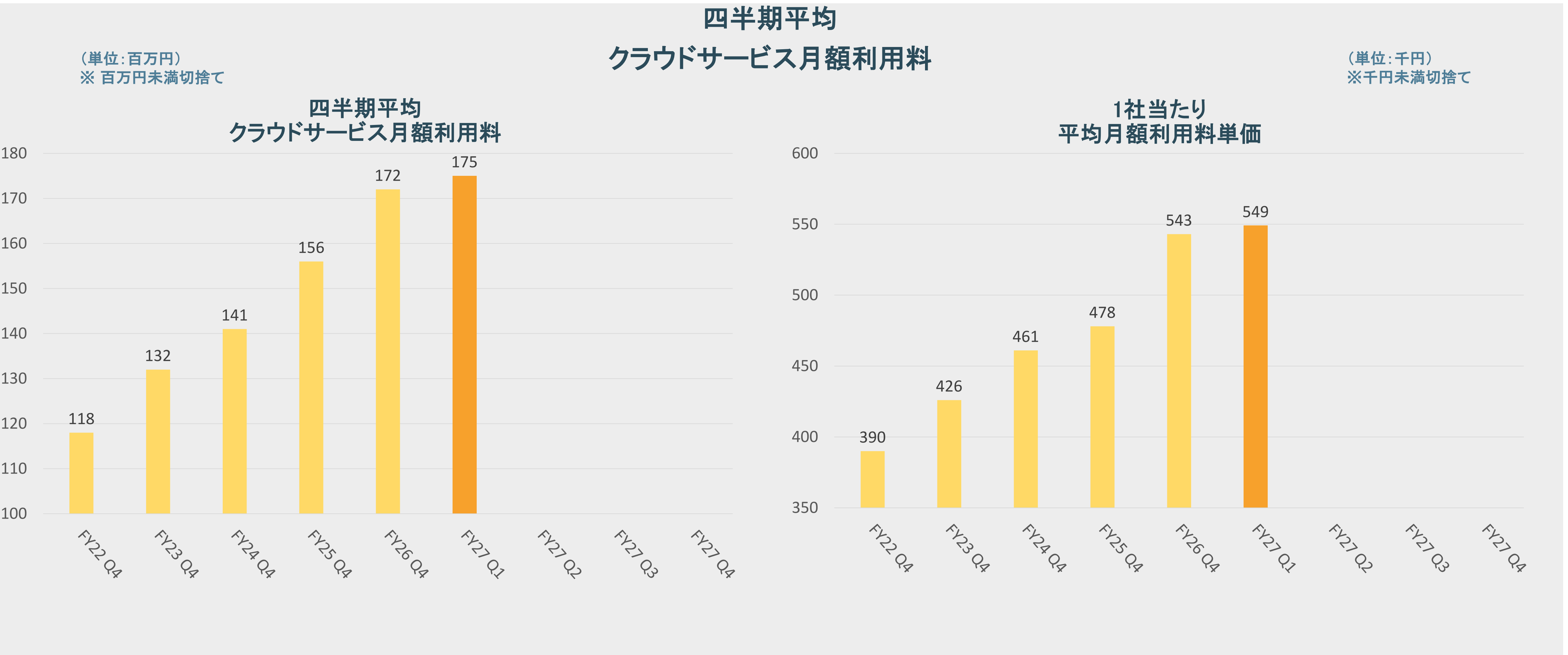
@property 解約率

解約率は件数ベース、月額利用料ベースともに低水準を維持し、顧客基盤は安定的に推移。



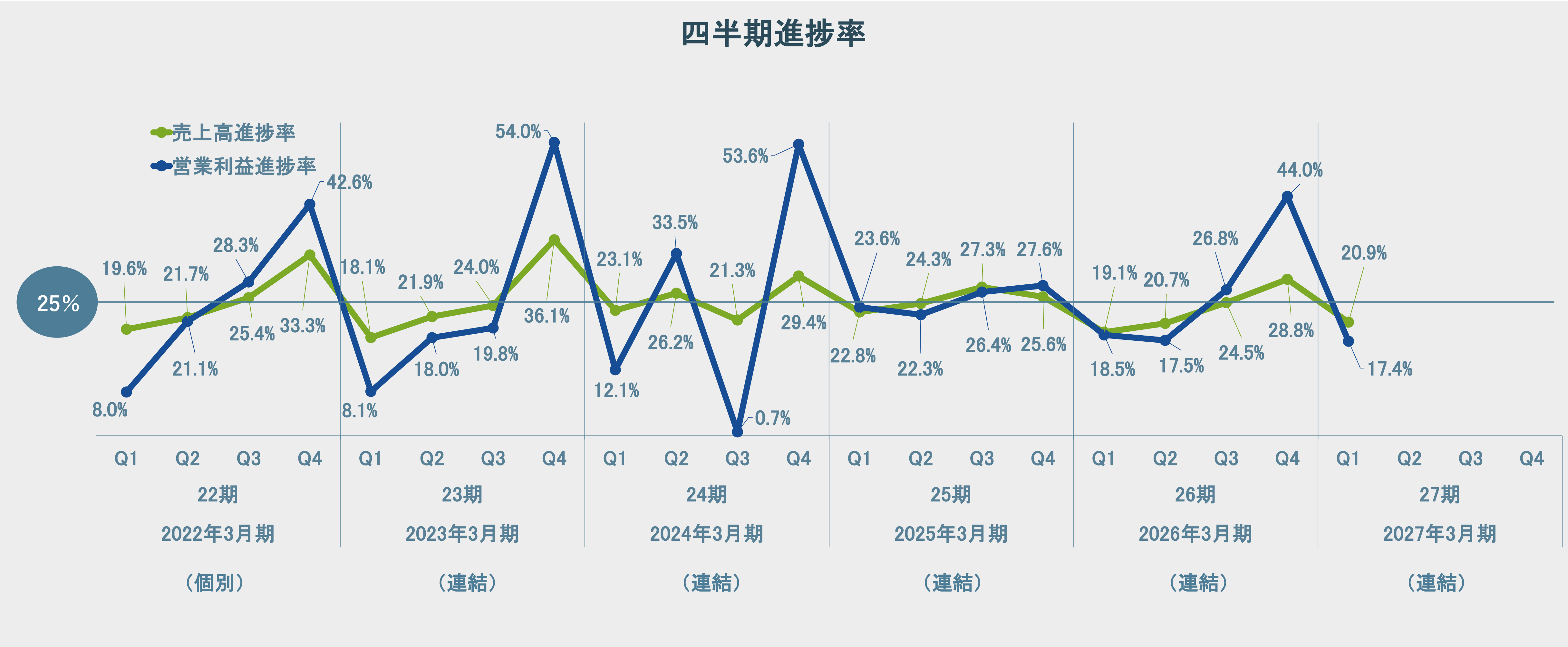
○ クラウドサービス月額利用料

クラウドサービス月額利用料は順調に拡大。
昨年度完了した大型案件の効果がQ1より月額利用料の安定的な増加に寄与。



四半期毎の進捗率

下期偏重の売上構成に変わりはないものの、第1四半期としては高水準で進捗。



○ 2027年3月期第2四半期以降の取組み

2027年3月期 計画

クラウドサービス

(計画 **2,090**百万円)

- 不動産ERPとしての訴求を継続し、大型案件を獲得
- 不動産WHOLE-LIFE構想を支えるデータ基盤として、@propertyを中心としたクラウドサービスのさらなる普及・拡大
- 新リース会計基準対応を契機とした顧客接点の拡大
- 当社の中長期的な企業価値創出のための源泉として、クラウドサービス全体の月額利用料成長と解約率低減によりストック型収益基盤のさらなる強化を推進



2027年3月期 第2四半期以降の取組み

- 展示会・セミナー等を活用し、新たな業種・顧客層との接点創出
- 既存顧客へのクロスセルを強化し、クラウドサービス全体の月額利用料成長を推進
- 顧客利用状況に応じたフォローアップを強化し、継続利用率の向上を推進

ソリューションサービス

(計画 **2,102**百万円)

- 不動産DX需要を捉えた大型案件・開発案件の獲得を推進
- 不動産WHOLE-LIFE構想の実現に向け、クラウドサービスと連携したデータ活用・業務高度化支援を強化
- 子会社との連携によるグループ総合力を活かした提案領域の拡大
- 高付加価値案件への注力による売上拡大と収益性向上



- 引き続き新リース会計基準対応に伴うシステム導入案件の獲得に注力
- @cmmsと連携したデータセンター事業者向けデータ分析・活用案件を推進
- 既存顧客の業務高度化ニーズに対応したPDB-Platformの追加開発・機能拡張案件を推進
- 子会社各社の専門性を活かした連携により、ソリューション提供力を強化し、グループシナジーを最大化



PROPERTY DATA BANK

IR に関するお問合せ
IR担当: 03-5777-3468
メール: PDB_IRinquiries@propertydbk.com

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
そのため、事業環境の変化等様々な要因により、実際の業績は言及または記述されてる将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。